

# 韓国 建陽大学

[2019年8月～2019年12月分]

現代政策学部3年 藤村紗弥

みなさん初めまして、私は韓国の建陽大学に2019年8月から留学している藤村紗弥です。建陽大学は韓国の忠清南道 論山市という場所に位置しています。韓国の中で田舎と呼ばれる場所ですが、大学周辺には飲食店やスーパーなど充実しており、大学生が多いため賑わいもある場所です。11月に入ると一気に冬らしい気候になりました。大学内でも学生が皆ダウンコートを着始め、12月になった今では夜中や朝方に雪が散らつく日もあります。

## <語学院での生活>

私は建陽大学にある、語学院というところで韓国語を中心に学んでいます。月曜日～金曜日の9時30分から13時20分まで授業があり、内容としては韓国語の読み取り、書き取り、聞き取り、会話を行います。月に1回のペースで試験があり、始めは大変だと感じましたが、試験の頻度が高いことで着実に身に付いていることを実感しています。

語学院ではアジア圏からだけでなく、様々な国からの留学生が韓国語を学んでいます。そのため、私は色々な国の友人を作り、韓国語で沢山の交流をしています。普段の授業では先生のみ韓国人のため、自分から韓国語を使う機会を多くすることが必要だと感じました。留学生活が始まり4ヶ月目となった今では、日常生活でまず韓国語で考えるようになっていきますし、韓国人の友達ともスムーズに会話ができるようになってきています。

## 韓服体験



### <寮での生活>

建陽大学内には学生寮が複数あり、同じ棟に韓国人の学生と留学生が生活していることもあります。私が生活している寮も韓国人の学生が住んでおり、寮にいる時間にも交流しています。寮内に食堂のようなものはありませんが、大学の目の前には飲食店が豊富なため、食事時になると寮で生活している学生は食べに出掛けたり、出前を頼んだりします。洗濯や掃除など、寮の設備が完備されているので、特に不自由は感じず生活することができています。

### <課外活動>

普段平日に行っている授業の内容は韓国語のみですが、韓国の文化に纏わる行事なども時々行っています。11月には、エバーランドという韓国の遊園地に留学生皆と先生方と一緒に行って来ました。他の月には文化体験などもあり、授業以外でも、韓国について知る機会が沢山あります。

### 文化体験@殿雄大寺



### エバーランドにて



<最後に>

私は韓国語の能力を伸ばしたいと思い、語学院のある建陽大学へ留学を決めました。大学のある論山市は、観光地ではない為もちろん日本語標記など無く、日本語ができる方も大学の先生に数名いらっしゃるくらいです。そして、大学の先生方はもちろん、買い物に行った際の店員さんやタクシーの運転手さんなど、韓国には初めて会った人に対して親切な方が沢山います。

私が8月に寮に入った際には、韓国人の同い年の子と友達になることができ嬉しかったのですが、私自身が韓国語を理解できても上手く返答のできない状態でした。しかし、先ほど述べたような大学の周辺環境のおかげもあり、日常生活において着実に成長することができていると今感じています。

留学生活も残り1ヶ月弱となりました。最後まで時間を大切にして、勉強や友人との交流に励み、成長して日本に帰りたいと思います。